

ボーイスカウト
「めざせ、ポケモントレーナー」

説明会資料

20250228時点

プログラムについて

今後、内容が一部変更になる場合があります。

背景

●ポケモンの教育支援活動

ポケモンのライセンス管理等を行う株式会社ポケモンでは、子どもたちへの教育支援活動を行っており、行政とのタイアップによるポケモン公園の設置や子ども向けの知育動画配信などを行っています。

近年では、日本サッカー協会（JFA）との連携により日本の次世代スポーツ選手の育成を促進するなど協会のPR活動にも関わっています。

●子どもたちに体験活動を

普段ゲームに触れている子どもたちに、もっと体験的な活動を提供することをボーイスカウト日本連盟とポケモン双方で認識し、協働することとなりました。



https://jfa.jp/partnership/story_pokemon/
<https://local.pokemon.jp/>

展開のイメージ

●カブラリー等でのパッケージプログラム

県連盟、地区などが行うカブラリーなどの事業での、パッケージプログラムとしての運用（カブラリーのテーマなどへの採用等）を基本とします。

●ワクワク自然体験あそび

ワクワク自然体験あそび事業などでの取り組みも想定しています。
（カブラリー等での展開を優先し、申し込みの規模によって団での取り組みに広がります。）

カブ年代が対象

一般の子どもたちの巻き込み

プログラムの概要

プログラムを作成するにあたり、ボーイスカウト側の教育的要素をベースにしています。それぞれの「要素」については、現行のカブブックから引用しているものであり。本項目を達成事項として設定することで、教育プログラムに沿った活動展開を意図しています。

●ボーイスカウトの教育要素がベース

「人格・健康・技能・奉仕」をプログラムの基本においています。

●スカウト活動×ポケモンの性質

教育的なプログラムになるよう配慮しています。

●6つのミッション

会場で6つのミッションに挑戦し、チームワークや自己のスキルを活かしてクリアしていきます。

●プログラムキットの活用

共通資材としてプログラムブックや看板などを配布します。会場での6つのミッションの運営は各実施主体でお願いします。



プログラムの概要

全体のストーリー

スカウト教育のねらいである「自ら進んで働きかける社会人」を、このプログラムの中ではポケモントレーナーと定義して、参加者が「ポケモントレーナー」を目指すストーリーを展開するものです。ポケモンの世界では、10歳になると冒険に出ます。そのことから、本プログラムもカブスカウト年代を対象としてつくっています。

ポケモントレーナーになるためのミッションとして、「人格」「健康」「技能」「奉仕」などからひとつずつ要素を設定しています。

これらのミッションをラリー形式で体験していくことを想定していますので、例えば、チェックポイント①に「リーダーシップ」の要素があるミッションを設置、チェックポイント②には「技能」の要素があるミッションを設置、というかたちで順番に体験していきます。全てのミッションをクリアしたら指導者が認定証を渡し、ポケモントレーナー＝自ら進んで働きかける社会人と認めてあげる流れです。

それぞれのミッションでは、「困っているポケモン」や「困っている状況」を設定しています。参加者は自分が持っているポケモンのなかから、一緒にミッションに挑戦するポケモンを選び、クリアしていくことで、困った状況を解決したり困っているポケモンを助けてあげたりします。

プログラムの内容

6つミッション

タイトル	風のいたずら!道を取り戻せ!
要素	チームワーク・体力作り
設定	強い風が吹いて石や木が道を塞いで通れなくなっちゃった!力持ちのポケモンと一緒に道を通れるようにしよう!
展開の流れ	1.石や枝を道に散らばす 2.指定されてポイントに岩や枝を運ぶ 3.片付ける時間を競う
実施者の準備物 (共通資材には含まれていない)	石・岩や木の枝など ブルーシート



6つミッション

タイトル	おなかぺこぺこ!きのみ大作戦
要素	技能
設定	たいへん!モルペコがお腹を空かせて大暴れ! どうにかして抑えてあげないと...! きのみを取るのが得意なポケモンの助けを借りてきのみをとってあげよう
展開の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1.スリングショットを作る 2.ワークブックにあるヒントをもとにきのみを射抜くのが得意なポケモンを選ぶ 3.そのポケモンのステッカーを自分のスリングショットに貼る 4.きのみがたくさんあり、スリングショットでそれを当てる 5.全てに命中させることができれば達成
実施者の準備物 (共通資材には含まれていない)	段ボール、割り箸、輪ゴム、厚紙

6つミッション

タイトル	どうする?崖の上のポケモン
要素	技能(ロープワーク)
設定	崖の上から降りれなくなってしまったポケモンがいるみたい! つるを伸ばすのが得意なポケモンと一緒に救出してあげよう!
展開の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒントをもとにつるをのばすのが得意なポケモンを選ぶ 2. 水辺の反対側にポケモンのステッカーを貼ったペットボトルがいくつか置いてあり、ロープでできた輪っかを投げてペットボトルにひっかけ、引っ張る 3. 全て手元に持って来たら達成
実施者の準備物 (共通資材には含まれていない)	ロープ(スカウトは持参)、ペットボトル テーブル(会場に高い場所がない場合)

6つミッション

タイトル	ふわふわ落ち葉の大搜索!
要素	瞬発力
設定	大量の落ち葉の中にポケモンが埋もれてしまったみたい! どうにかして埋もれたポケモンを助け出せないかな・・・?
展開の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒントをもとに手裏剣を投げて岩山を破壊することができるポケモンを選ぶ 2. 協力して手裏剣を手作りする 3. 風船に落ち葉を貼りつけて手裏剣を当てることで退かしてしたいいるポケモンを助ける
実施者の準備物 (共通資材には含まれていない)	落ち葉、風船、段ボール、風船を固定する杭とヒモ

6つミッション

confidential

タイトル	どこにいるの？ポケモン探し隊！
要素	観察力
設定	私のポケモンたちとみんなでお出かけしてたんだけどみんなとはぐれちゃって迷子になっちゃったの…。 そこでお願いなんだけどみんなに迷子になってる私のポケモンたちを探してほしいの！
展開の流れ	1.「私のポケモンたちが迷子になっちゃった、、、 〇〇の特徴があって、〇〇のところにいる気がするんだけど。 時間があるなら探して来てくれないかしら。」 2.いろいろな場所に隠されたものを探す ・ニャオハ(くさタイプ)：茂みや草花、大きな木 ・ホゲータ(ほのおタイプ)：太陽が映り込む鏡、熱を帯びた地面 ・クワッス(みずタイプ)：水道やトイレ、水たまり ・ピカチュウ(でんきタイプ)：街頭や黄色い植物”
実施者の準備物 (共通資材には含まれていない)	会場にあるものを活用

12



そなえよつねに
ボーイスカウト

6つミッション

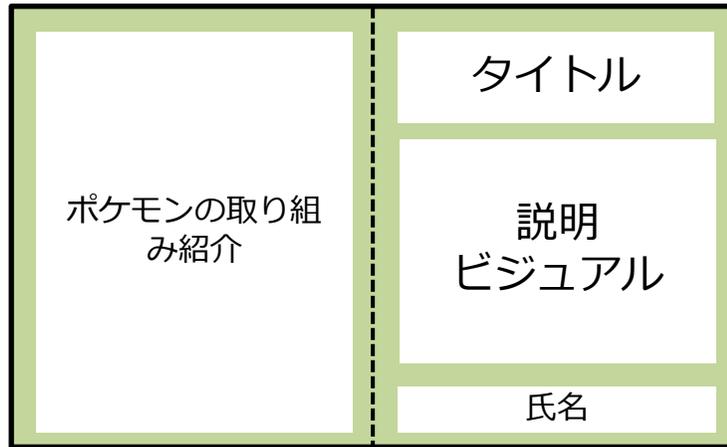
confidential

タイトル	ポケモン救助隊、出動!
要素	応急救護
設定	ポケモンバトルや冒険にはケガがつきものだ! いざという時に備えて、ポケモンを助けられるようになるろう!
展開の流れ	1.怪我した人を手当てする 2.担架をつくる 3.A地点からB地点まで怪我した人を運んであげる
実施者の準備物 (共通資材には含まれていない)	三角巾、物干し竿(担架用)、毛布、何か重いもの(運ぶ用)

プログラムブックのイメージ

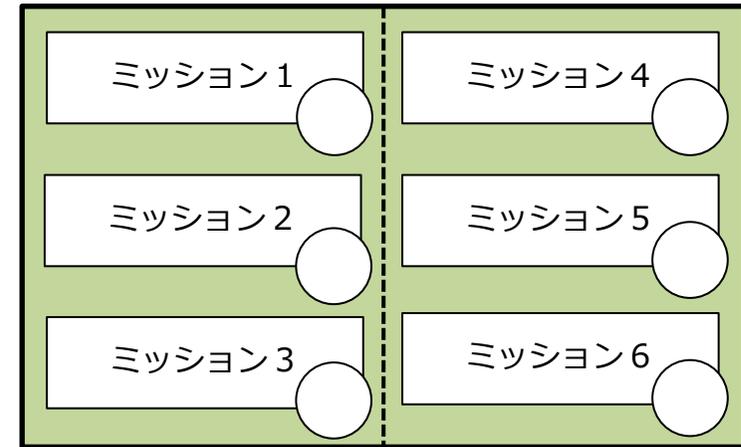
confidential

製本したものをお届けします



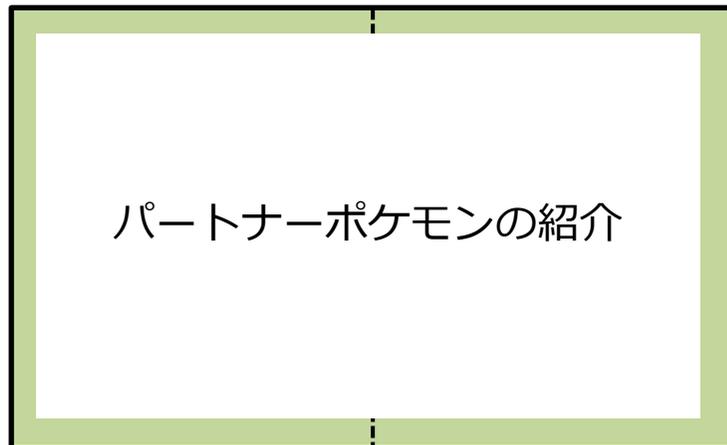
裏表紙

表紙



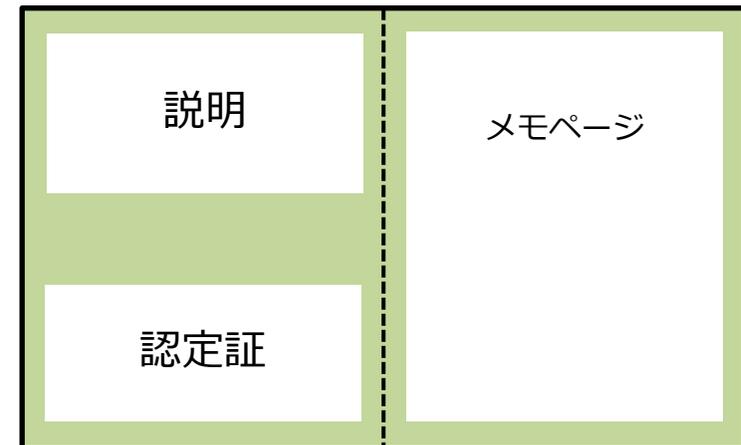
P2

P3



P4

P5

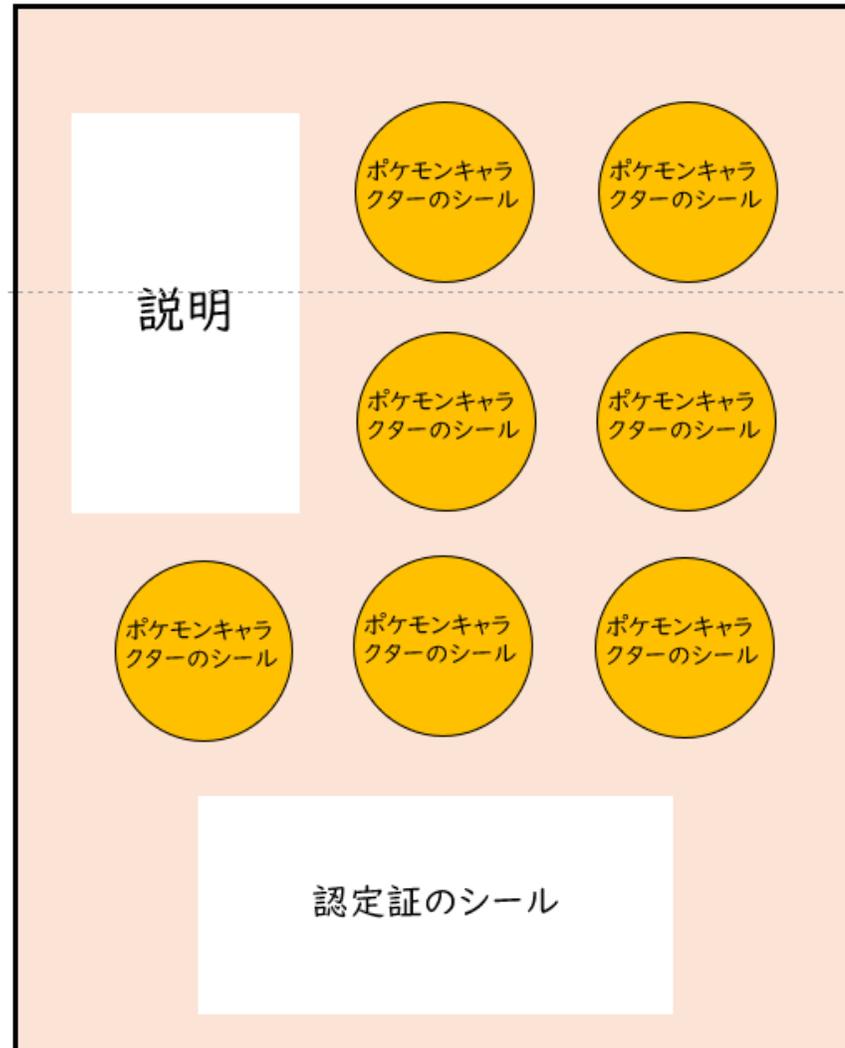


P6

P7

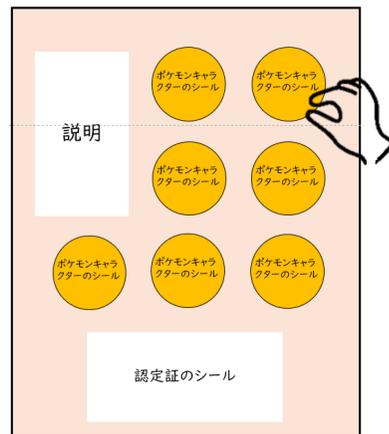
14

ステッカーのイメージ

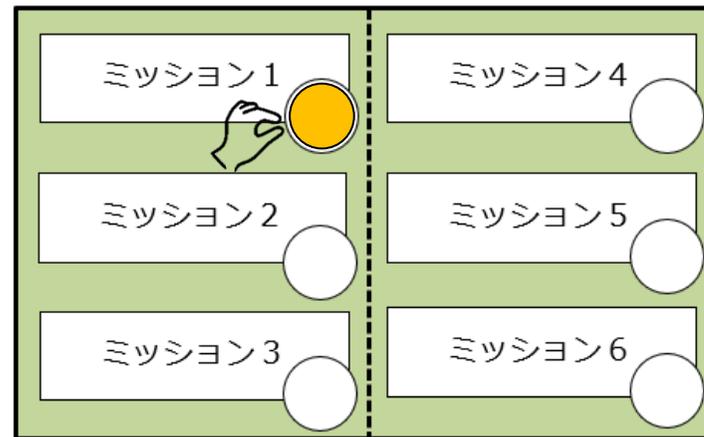


プログラムブックとステッカーの使い方

- 参加者全員にプログラムブックを配布
- 場内6か所のミッションに挑戦する際に、ミッションに必要なポケモンを選ぶ
⇒プログラムブックに記載されているポケモンの特徴をみる
⇒ミッションの内容と合うポケモンを選ぶ
- ステッカーの台紙から選んだポケモンをはがして、プログラムブックに貼る
- ミッションに挑戦する
- すべてのミッションが終わったら、指導者から「認定証」を渡して、台紙に貼る。



ステッカー台紙



プログラムブック

配布物

これらは全て、実施者の費用負担なく、
日本連盟から提供・貸与します。

参加者（スカウト、一般児童）配布

①プログラムブック

②ステッカー



プログラムキット

③プログラム看板類

④バナー、のぼり等PRグッズ



別事業のイメージ

- ・参加者数分を配布
(団での展開にも配布)
- ・返却不要

- ・ラリー形式での展開のみ貸出
- ・各会場1セット
- ・返却が必要

指導者の手引きはメールでデータ提供

プログラムWEBサイト

本プログラムの専用サイトを作ります。サイトが持つ機能は以下のとおりです。

- プログラムの概要やストーリー、キャラクターの紹介
- 全国での開催会場一覧
- 一般の方が参加を希望する場合の問い合わせ先（実施者）



参加募集チラシ

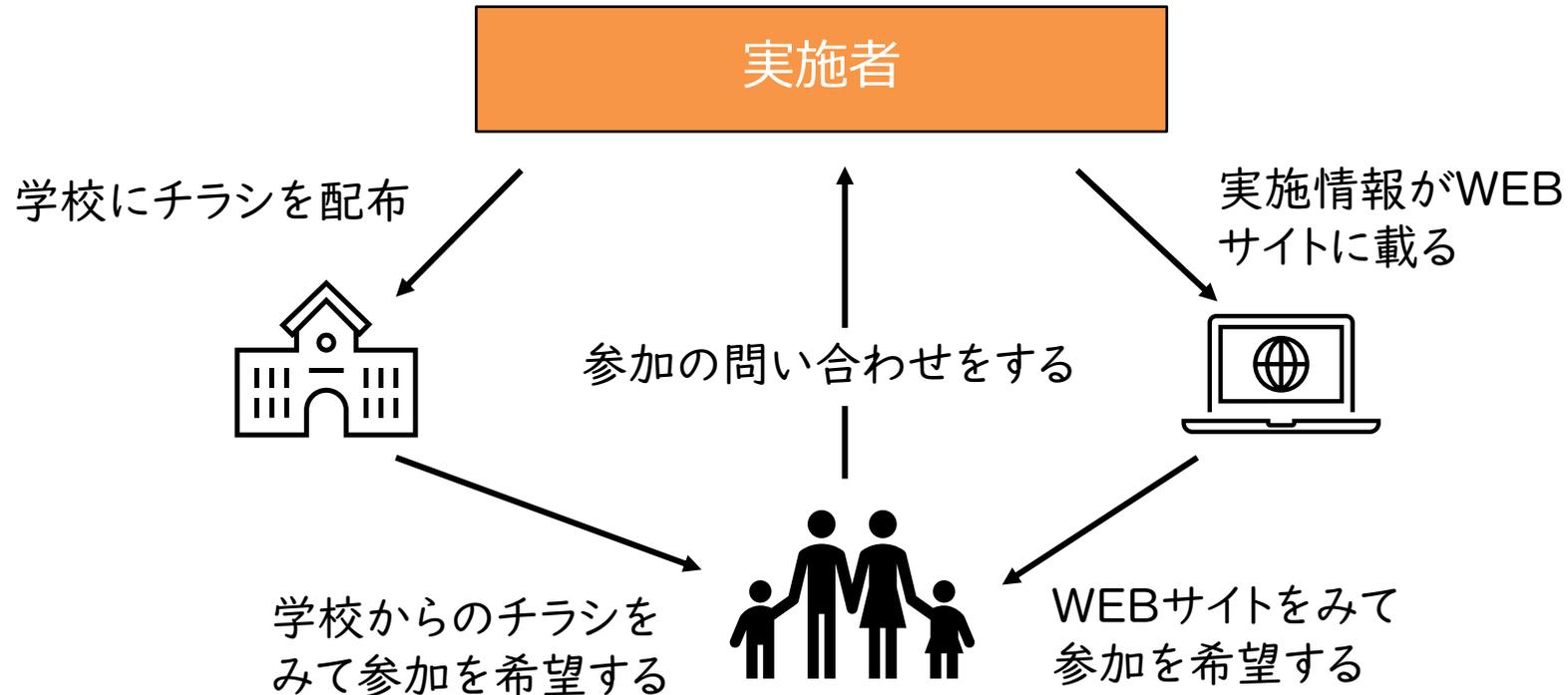
●本プログラムを周知し、参加者を募集するための「チラシ」のフォーマットを用意し、データで提供します。

「問い合わせ先」などを情報を追加し、チラシの制作や配布は実施者にてお願いします。

一般児童の受入れ

子どもたちに人気のキャラクターであるポケモンを使って、一般児童の興味関心をひく機会としてください。

- プログラムチラシを小学校などで配布する
- WEBページの「問い合わせ」からくる問い合わせに対応する



申し込みについて

申し込み方法

県連盟を通してお申し込みいただきます

Step1.日本連盟から県連盟に申し込みフォームをお送りします

本プログラムへの実施希望を募るWEBフォームを用意します。日本連盟から県連盟事務局様へ文書でお送りします。

Step2.団や地区は県連盟に申し込みをお願いします

- ・実施を希望する団や地区は県連盟にお問い合わせください。
- ・県連盟は希望があった団・地区に直接申し込みのWEBフォームを共有するか、あるいは、フォームは共有せずに、団・地区から必要な情報を集約して県連盟としてフォームにご入力ください。

Step3.県連盟は申し込みを承認してください

- ・県内での申し込みがまとまりましたら、リストを確認し、県連盟として実施を承認するのか、不承認なのかチェックを入れていただきます。
- ・日本連盟は県連盟の承認があった申し込みのみを受け付けます。

Step4.日本連盟は県連盟および申込者に実施決定通知をお送りします

- ・承認された申し込みについて、プログラムキットを手配します。

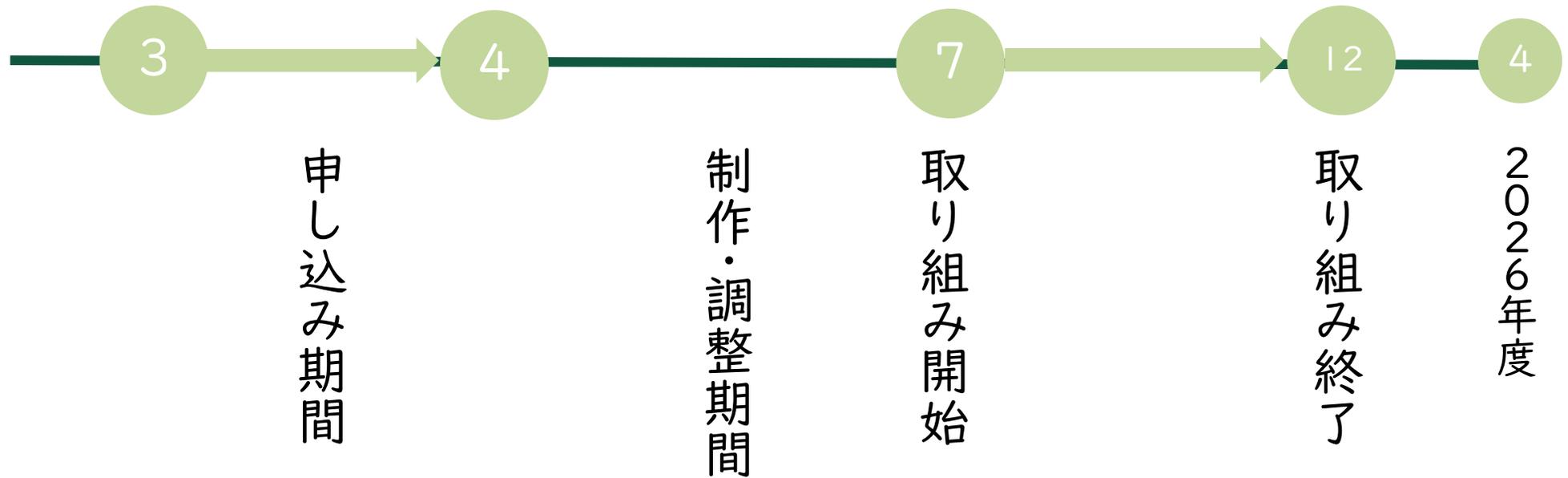
申し込み期間 2025年3月～4月末
2025年度、2026年度分

申し込み～実施報告

<実施者>

1. 団や地区、県連盟において、本プログラムの取り組みを検討し、実施日、実施場所、参加者数を決める
2. 県連盟を通して申し込む
3. (実施が決定したら) 日本連盟から送られてくる実施決定通知とマニュアルを確認する
4. 実施の2週間前にプログラムキットが届くので内容物を確認する
5. 実施日に会場で設営して展開する
6. 実施終了から1週間以内に返送する
7. 実施終了から1週間以内に実施報告を送る (WEBフォーム)

今後の主なスケジュール



情報解禁日は後日お知らせします

まとめ

- カブスカウト年代を対象
- 2025年度、2026年度での実施希望を、2025年3月から4月末までに申し込む
- 実施希望者は県連盟を通して申し込む
- 一般児童の参加を推奨
- 本プログラムで用いているポケモン関係のイラストについて転売・用途外使用・二次利用は厳禁
- 情報解禁日までSNS等での発信禁止

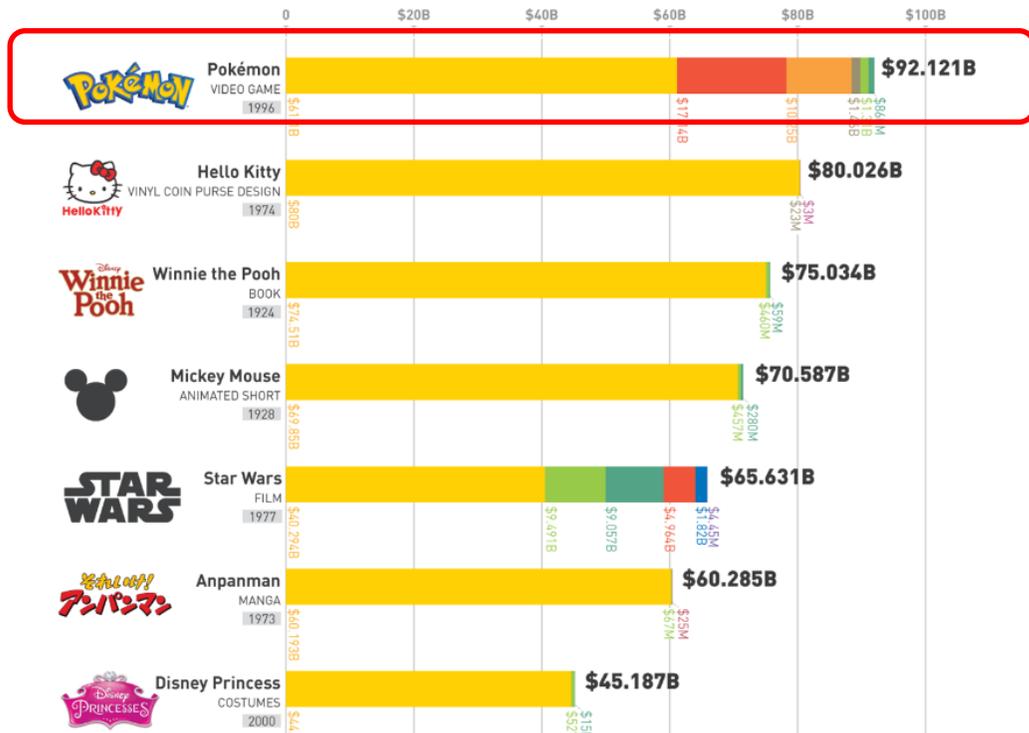
(参考) ポケモンの市場価値

confidential

ポケモンは子どもたちに人気のキャラクターであり、さまざまな調査からその市場価値をみてもポケモンとの連携は子どもたちへの訴求力が高く、またどの世代にも馴染みのあるものだといえます。

キャラクター「メディアミックス」総収益世界ランキング (メディアミックス:ゲームやアニメ、グッズなど含めたもの)

1位はポケモン



米金融会社TITLE MAX発表2019年
<https://ipmag.sketttt.com/detail/mediamix-pokemon>

小学生に人気のアニメランキング 上位にランクイン

小学校低学年がよく見ているアニメランキング

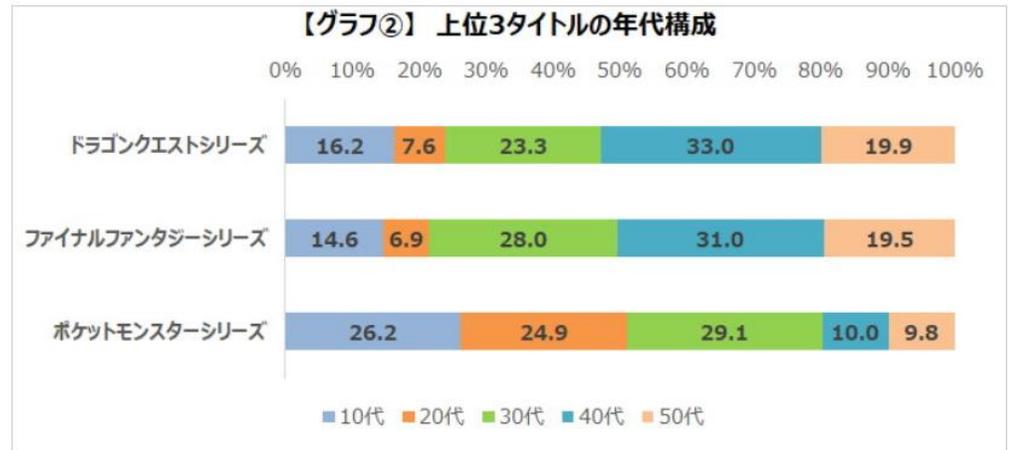
- 1位 ポケットモンスター
- 2位 ドラえもん
- 3位 SPY×FAMILY

小学校高学年がよく見ているアニメランキング

- 1位 ドラえもん
- 2位 SPY×FAMILY
- 3位 ポケットモンスター

東京イベントプラス調べ2024年
<https://tokyo-eventplus.com/column/ranking-children-anime>

RPGゲーム上位3タイトルの年代構成 ポケモンは10代から30代まで幅広い年代



ゲームエイジ総研2021年
<https://www.4gamer.net/games/999/G999905/20211125192/>

質疑応答

Q&A

【プログラムの展開について】

Q:6つのプログラムをすべて実施する必要がありますか？

A:カブラー等で行う場合は、6つとも実施してください。

Q:一般児童がいないと取り組んではいけませんか？

A:一般児童の参加をお願いしておりますが、いない場合でも取り組むことは可能です。

Q:カブラーにビーバースカウトも参加する予定ですが取り組んでも良いですか？

A:取り組んでいただいて構いません。ただ、カブスカウト年代を想定していますので、プログラムの内容をご確認いただき、指導者の皆さままでご検討ください。

Q:ワクワク自然体験事業がこのポケモンの事業に置き換わるものですか？

A:置き換わるものではありません。ワクワク自然体験事業等においても活用いただけるコンテンツをご用意したかたちです。

Q:参加費は徴収しても良いですか？

A:一般参加者の保険代などを徴収するケースはあり得ると考えています。

Q:ミッションの内容は、ストーリーを壊さない範囲でアレンジしても良いですか？

A:各会場の環境によって、ストーリーや教育要素などを変えずに、工夫していただくのは問題ありません。 28

Q&A

【申し込みについて】

Q:申し込み時点で実施日が決まっていません。どのようにすれば良いですか？

A:まずは予定日でお申し込みいただき、実施日が決定したら県連盟を通じて日本連盟にご連絡ください。なお、資材手配の都合がありますので、2か月前にはご連絡をお願いします。

Q:参加者が増えて、プログラムブックの追加が必要な場合はどのようにすれば良いですか？

A:多少の予備を含めてお申し込みください。その上で不足となった場合は、日本連盟事務局にご連絡ください。

Q:複数回申し込んでも良いですか？

A:構いません。2年連続でカブラリーを実施するところや、初年度はカブラリー、次年度は団での取り組みなど考えられるかと思えます。

Q:申し込みにあたり、費用は発生しますか？

A:費用は発生しませんが、各ミッションで必要な備品類は実施者にてご用意いただく必要があります。

Q&A

【プログラムキット・制作物、他について】

Q: 資材は2週間前に届くということですが、事前に見ることは可能ですか？

A: カブラリー等で実施する皆さまには、プログラムブック・ステッカーや看板の内容などを事前にデータで共有します。

Q: 全国的に実施日が重複した場合、プログラムキットが借りれないということはあるですか？

A: そのようなことにならないように、4月末までにお申し込みをお願いしております。カブラリー等で実施の場合は開催日(時期)が決まっていることがほとんどだと思いますので、なるべく正確な日程をお知らせください。

Q: ポケモンのデザインを使って、募集チラシや装飾物を制作しても良いですか？

A: 募集チラシについては、フォーマットを用意する予定です。ポケモンのキャラクターを用いてその他の制作物を作ることは禁止です。転売・用途外使用・二次利用はできません。

Q: 活動した内容を団のホームページやSNS等に掲載しても良いですか？

A: 掲載していただいて構いません。ただし、被写体となる参加者や保護者の了解を得るなど個人情報の扱いについては各団・地区が日頃行っている対応と同じ対応を取ってください。

また、全国で展開しますので、プログラムの詳細が分かるような内容(スカウトにとってネタバレになるもの)をSNS等で発信するのは控えていただけると幸いです。

